



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3 丁目 10-15 富士ビル 505 号室 発行人 松本敏之
TEL03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp



笠木博逸さん ご冥福をお祈りいたします

昨年（2022）年の11月から肺腺癌で療養を続けていた笠木さんでした。病院での懸命の治療や家族の支えで1年間入退院を繰り返していったものの、その甲斐なく9月20日早朝にお亡くなりになりました。

昨年の10月には関東ブロックの合宿で元気に講演をしていましたが、その後、体調を崩し検査の結果、ステージⅣの診断を受けていました。闘病を続けながら自身の集大成である笠木博逸 Selection「On The Road」のCDを今年の6月の新潟祭典に向けてリリース。残念なことに最後のCDとなってしまいました。

笠木さんといえば、「Let's Sing a Song」「たっえらくても」「On The Road」など数々の名曲を作った

日音協の重鎮。これからの運動を牽引して頂きたかったですが、早すぎる別れは残念で仕方ありません。満70歳、ご冥福をお祈り申し上げます。

「葬儀の報告」

9月23日18時から笠木さんの通夜が執り行われました。FMカンパニーは斎場で笠木博逸メモリアルコーナーを設置しました。愛用のマーチンギターや創作ノート、歌集、CDを並べて、パソコンで在りし日の写真と「On The Road」のCDを流すと、会葬者は足を止めて見入っていました。

笠木さんは入院中にも五線紙ノートに新しい歌がつづられており、最後まで創作活動をしていたようです。通夜の時「Let's Sing a Song」「On The Road」の2曲をFMカンパニーが歌い祭壇に捧げましたが、涙が止まりませんでした。翌日の出棺では、笠木さんのCDが流れるなか、棺に花を入れて最後のお別れをしました。

大きな柱を失ったFMカンパニーですが、笠木さんの遺志を継ぎ、これからも歌い続ける事を誓いました。

（磯野宏之）

第55回沖縄音楽祭のご案内

7月29日、30日の日音協全国代表者会議では、第55回はたらくものの音楽祭（2024年沖縄県）の日程を「9月28日（土）29日（日）を第一候補とします」とご提案し、ご提案通りご決定いただきましたが、その後、自治労沖縄県本部が9月28日に定期大会を計画していることが明らかになりました。

そこで協議の結果、1週間前倒しすることとしました。三連休にかかり航空料金もホテル代も嵩むことが懸念されますし、台風の懸念が高まるということもありますが、よろしくをお願いします。

■2024年9月21日（土）、22日（日）（準備は20日）

■会場

那覇文化芸術劇場なはーと

<https://www.nahart.jp>

を予約済みです。



笠木順子さま

笠木博逸さまの訃報に接し、大変悲しい気持ちでいっぱいです。笠木博逸さまは、日音協のみずからを表現する運動の先頭に立ち、労働者の生活に根ざしたたかいを鼓舞するうた＝作品を多く残され、日音協のかけがえのない財産になりました。故人のご冥福をお祈りし、ご遺族のみなさまに心からお悔やみ申し上げます。

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目 10-15

富士ビル505号室

日本音楽協議会

会長 松本敏之

2023東北北ブロック合宿



後藤です



申屋さん



加藤さん



福士さん

天羽さん

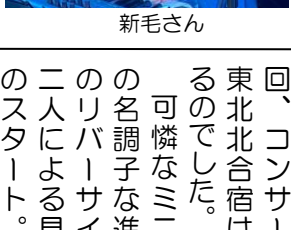


のぞみちゃん

三田地さん



阿部さん



新毛さん

秋田県美郷町の宿泊交流館「ワクアス」を会場に、青森支部から二人、岩手県支部から七人、秋田県支部から七人、長野県支部から二人（内一名は中央幹事）、富山県支部一人、東京都支部から一人の二十人が参加して、九月十六日から十八日にかけて東北北ブロック合宿を開催しました。

歌う機会が限られていた期間を乗り越えての三年ぶりですが、皆さん漏れなく三つ年を積み重ねていたわけで、この間に定年を迎えた仲間もいたりして平均年齢は間違いなく上昇しました。

まさしく、「青春とは心のありようだ。」というが如く、音楽運動との関りに長い短いはあったとしても、歌で仲間と繋がり合い、歌を広めていく

志を一つにした仲間が集まる合宿には、年齢の高まりとは別に「青春」の風も優しく吹き込んで、久々に賑わいの時を過ごしました。

合宿の課題は、来年沖縄県で開催の全国音楽祭に東北北Bの合宿で発表する曲の選考と音取り練習が一つ目、二つ目はブロック合宿コンサートでした。

一つ目は、みちのく合唱団ともいわれる東北北Bの常任指揮者天羽憲治さんからの提案で二曲（題名は秘密）を決め、天羽さんが合宿曲にアレンジした曲を沖縄音楽祭に向けて数回の練習会を開く予定になります。

二つ目は、参加者による合宿コンサート。土蔵をリフォームした飛翔館で三十席ほどの会場に、十の個人とユニットが休憩なしの三時間に渡って三十一曲を歌いつなぎました。

ミニオンス（佐藤幸子さんと佐々木かな子さん）の軽妙な司会進行に、会場は程よく温められて、「長くは感じなかった」「楽しかった」「音が良かった。」などなどの言葉を聞いただき、藤原真栄さんの音響・照明機材とオペレーションが舞台づくりに抜群の威力を発揮しました。

感想交流では、YouTubeを使った作品の交流など、ネットやSNSを使った音楽情報の発信についての発言もあり、今の時代の社会環境に適応した活動について模索している仲間がいることを力強く感じました。（後藤雅裕）

長野から秋田へ600キロ



秋田への片道600キロの運転を終えるとそこには、大きな蔵を改装した重厚な建物の中に、照明に照らし出された素敵なステージが、藤原さんの大きな力により準備されており、今回、コンサート主体という東北北合宿はそで始まるのでした。

可憐なミニオンスお二人の名調子な進行で、一発目のリバーサイドのイケメン二人による見事な歌声からのスタート。新毛さんの独創的な唄、富山の加藤さんの気持ちの入った唄、阿部さんの見事なカントリーギター、のぞみちゃんの優しくも力のある歌声、そのお

父さんの味のあるラブソング、天羽さんプロデュースの難解なデュエット、かぶちゃんの容姿から想像できないモダンなコード進行の楽曲、そして秋田のオーバードバンド、下総さんのチエロの音が無茶苦茶良かった。そして大嶋さんの歌唱力、さすがです。

そんな優れた方々の中で今回「唯一無二ゆ」のデビュー戦をやらせていただきました。PAと照明に助けられ、楽しくステージの間を過ごすことができました。ありがとうございます。

夜の交流会では、佐藤（ヤス）名人の河島英五、村岡支部長の「山のうたはもう」、天羽さんの「夜の伝説」が披露され、さすがのいぶし銀でありました。

久しぶりの合宿で、やっぱり交流するっていいなあと改めて思いました。東北の方々の真面目さと温かさを体中に感じながら、帰路の長いハンドルを又握りしめるのです。来年は岩手でウニ食べたいなあ。

（長野から参加の塚本昇）



「食とみどり水のフェスティバル」が、9月9日秋田駅前大屋根下で開催され、日音協秋田県支部は音響と歌でフェスティバルを盛り上げた。

同フェスティバルは今年で 39 回を数えるイベントで、主旨に賛同する労働組合や団体で構成された実行委員会が主催している。コロナ禍により 2 年ほど開催出来なかったが、昨年から感染対策を行い復活した。

秋田県支部では 5 名の会員と家族が参加し、「移動音楽広場のテーマ」や、「私は忘れない」、「線引きやっこ」など 9 曲あまりを歌って、イベントに参加し、通りかかった多くの市民に聞いてもらいアピールすることが出来た。

中には足を止めじっくり聞いたあとと力強い拍手をして下さる方もいて、「私たちの思いは届いている!」と感ずることが出来たイベントだった。(下総 大)



後藤さん 下総さん 大嶋さん



大空の下、歌でアピールしました

東北ブロック合宿コンサート・プログラム

THE RIVER SIDE GRASS (秋田)

ひかり輝くこの瞬間に
線引きやっこ
愛と花と自由を
だからいいことを言おうよ

新毛郁子 (岩手)

ゆるだら
こもれびの仲間
むやみに語るな

阿部尚夫 (秋田)

希望の鐘
政治にもっと目を向けよう
百姓たち

加藤葉子 (富山)

ねがい
私たちは許さない

NOZOMI with 三田地昇二 (岩手)

雨のにおいに誘われて
補助輪だっていいじゃないか

三田地昇二 (岩手)

60 回目のクリスマス
爽やかな風が通り過ぎるみたいに
君の笑顔は百万ドル

天羽憲治 (東京) & 福士睦 (岩手)

背中合わせのうた
ひとつの夜

甲屋文史 (青森)

半透明の時間
ラストワルツ
あの日の僕に

唯一無二ゆ (長野)

テッペンカケタカ
専業主婦ざまず
引き算のボヌール
半径 3 メートル
一丁締め

Over 60 years old band (秋田)

春・夏・秋・冬
紙ひこうき
春風と青空
安心な未来を

※3時間ノンストップのコンサートになりました。

YOU TUBE で見えます。
日音協 HP からどうぞ!

2023 日音協 SONG 紹介曲

戦争の誘惑に乗ってはいけない

詩&曲=後藤雅裕 補詩=日音協秋田県支部

Music score for the song "戦争の誘惑に乗ってはいけない" (Don't get tempted by the war). The score is written in G major, 4/4 time, and includes lyrics in Japanese. The lyrics are:

きなくさい においが にしかげに はこばれて たいりくをこえてや っ て き
たちこめて きはじめた せんそうができるく に づ く

た り ミサイルが とびかい ほうだんが とびかい
あやまちが ふたたび くりかえさ ないと

はかいとさくりつ の まち か ら その ただようかげは 血 と かやくのにおい
あの日にちかったこのくに で

せん そうのにおいに さそわれては いけな い

きなくさい においが にしかげに はこばれて たいりくをこえてや っ て き た

た あやまちが ふたたび くりかえさ ないと あの日にちかったこのくに

で

応募された楽譜のすべての音符を半分の長さにして2小節を1小節にまとめています。

「全国アコニストのつどい2023」 ～アコニストのドック～

9月1日から3日まで、伊東市の「さつき会館」において「全国アコニストのつどい2023」が開催され、窪田講師を含め15名が集った。

「つどい」は、40回を迎えた2018年の「全国アコーディオン合宿」を区切りとして、アコニストの活動交流、つなぎ合う場として2019年から開催されてきたが、2020年は新型コロナ感染拡大で中止になった。翌年から再開しているが、1978年の第1回(富山県)から連続参加してきた私は、4年ぶりの参加となった。

全国の仲間とは久しぶりの再会。特に窪田講師は年齢のこともあり、体調が大変気になっていたが、その心配は、講義のときのシャキッとした姿でふっとんだ。

講座では、基本のペローイングについて徹底的に、演奏の場をつくること、課題を持って参加すること、などが指摘された。

個人的には、この間編曲(変曲)してきたアコ合奏譜を事前に送ってチェックやアドバイスをもらったことが初めてであり良かった。これからお願いしたい。

夕食交流の場などで語り合い、自由にアコを弾き交流ができることが良いところ。地域の集会や施設での演奏活動が継続の力になっている。アコだけでない情報交換など全国のネットワークの必要も感じた。

今回は、初参加者と何十年ぶりの参加者もあった。

窪田講師は、「かあさんの歌」70年の2026年までは頑張るとのこと。

とにかくアコ仲間に会えば元気になる。元気が出る「つどい」だ。来年は、9月6日～8日に開催予定。全国のアコニストのみなさん「つどい」ましよう。(富山・磯野友一)



窪田聡 講師



夕食交流で語り合い



元気が出る「講座」

つなごう憲法をいかす未来へ 11.3 憲法大行動

■日 時 2023年11月3日(金・祝)

14:00～15:10 集会

■場 所 国会正門前

日音協は憲政記念館建て替え地前の交差点集合とします。
当日の状況によって集合場所を変更することがあります。

■次 第

13:45 オープニング：公園で Chill from Expressions for Activism!!

14:00 コール・主催者あいさつ

14:05 国会議員あいさつ

14:30 カンパの訴え

14:35 スピーチ：斉藤小百合さん、清水雅彦さん

14:50 リレートーク(沖縄辺野古問題、原発事故処理水海洋放出問題、マイナンバー問題)

15:05 行動提起・コール

15:10 終了

■日音協の取り組み

- ・日音協は13:15から13:45まで憲政記念館建て替え地前の交差点で出迎え演奏をします。
- ・13:45から、戦争をさせない1000人委員会の構成組織として集会に参加します。
- ・引き続き集会の終わる15:40から、財務省上交差点で送り出し演奏をします。
- ・日音協は、参加のための交通費その他の費用を負担しません。



全国各地で活動するアコーターの皆さん

FMカンパニーの雪辱戦

「シニアの集い」で五年越しの演奏

9月13日、北海道退職者連合が主催する「シニアの集い」が札幌かでの2・7ホールで開催され、FMカンパニー7人のメンバーで演奏した。この集いには因縁があり、5年前にも同じ演奏を予定していたものの、なんとビックリ、当日の朝に胆振東部地震に襲われて北海道全域が停電となるブラックアウトとなり、電話は繋がらないわ、信号も消えて交通も渋滞するわ……。てんやわんやの大騒動となり会場も使用できずにやむなく中止となったのでした。その翌年からは、にっくきコロナの野郎のせいで開催は断念。そんなこんなで、メンバーは悔しい思いを余儀なくされてきたのですが、やっとのことで札幌での再開の運びとなり、我々は「5年越しの雪辱戦」とばかりに気合を入れて臨んだのでした。

200名ほどの観客を前に、まずはオープニングで的場さんの「メッセージ」をアカペラで披露。みんなで北海道での第47回音楽祭記念でもある「歌っていいんでないかいTシャツ」を着こんでステージに。まるで東京のメーデー合唱団か！というような姿に少々の恥じらいもありましたが、それでもいいんでないかい、と。その後、講演を挟んで2回目の登場。まずは佐藤会長のトランペットから始まる「すべての人に」を演奏。ちょっと盛り上がったところで「ガンバレ、けっぱれ高齢者」というブービーの「くたばれ消費税」の替え歌をロック調で。曲の最後には♪戦闘的・革命的・ステキな高齢者〜と歌いあげた。だいぶ盛り上がったところで3曲目は新潟祭典でも披露した「大谷 GOGO」。チャックベリーの「ジョニーB グッド」の替え歌で笠木さんが発案したものだ。沼前さんのギターと満さんのベースで雰囲気は最高潮に。ただ、GO GO と言っているのに肝心の太谷君が当日も試合を欠場していたことが残念ではあった。

最後はロシアによるウクライナ侵攻が終わることを願って「武器を捨てて」を演奏し、盛大？なる手拍子もいただいて終了。20分程度の演奏ではあったが、雪辱を晴らして満足感に浸ることができた。その後のプレゼント抽選会では「ヤラセ」なしでネッチャンが1万円の商品券をゲットするというオマケまで付いて、打ち上げでの酒も美味しくいただけた。今回の7人のメンバーは全員が退職者であり、ある意味で会場の皆さんのお仲間なのだが、長老的場さんを除くとまだまだ「退職者青年部員」。日音協もそうなりつつあるけれども、平和勢力の主体も退職者と言っても過言ではない。若い連中にも先輩方にも負けまへんと、という気概を持って今後の活動を担っていききたいものだ。最後に退職者、高齢者にいま必要なのは教養と教育なんだと教えられた。教養とは「今日、用事がある」、教育とは「今日、行くところがある」……。お後がよろしいようで。チャンチャンと。(桑野功)



まとはさん (と) 退職者青年部員の面々



スワッ 東京のメーデー合唱団か!?

富山・9月活動報告 高校生に囲まれて歌った

去る9月19日富山市駅前で、「安保法制8年 戦争準備より暮らし守れ! 富山県民集会」が開催された。

開会前から歌っていたら、男子高校生に取り囲まれ、合いの手入れたり、踊ったり、ずっと行進の送り出し後も興味を持ってきて「戦争に行きたくない!」「愛が一番大事だ!」といったしょに歌ってくれた。(曲目は「決意」)

また、女性が50円手渡ししてくれたことも初めてのことで嬉しかった。

(富山・加藤葉子)



「日音協のインターネット音楽会 2023」がスタート。HPからどうぞ(東北北合宿コンサート…。)合わせて、2022には、昨年の関東合宿での笠木さんの貴重な映像に触れることができます。ぜひどうぞ。(佐藤)

水道橋 だより

▼『ローカル線』リモートミュージックミーティングを楽しみにされていた皆様に心よりお詫びします。▼開始時間が遅れたこと、配信 URL が何度も変更になったこと、ようやくスタートしたものの画像も音声もダメダメだったこと、重ねてお詫び申し上げます。▼当日は 10 時に集合し、配信リハも順調に進みそれなりに良い音声と映像を配信できるところまで確認していたのに、12 時過ぎて再度チェックすると何故かパソコンから音声落ちていたことが発覚！どうやっても回復しないという全く予想していなかった事態に陥ってしまい、結局最悪な状態でのスタートとなってしまいました。原因は、会場などからお借りした機材が多かったことによる、私の使用機材の熟知不足に尽きます。次回に向けしっかり反省しました！楽しみにしていた皆様、本当に申し訳ありませんでした。そしてできれば懲りずに、どうかまたおつきあいいただければありがたいです。(配信担当 坂口美日)



どん行

(171)
飯島貞親

自警団はすぐ退却したという。狂気が渦巻く中で勇気ある人がいたと思うと救われる。

「5・15 沖縄平和行進のマーチ」も歌った。他にも『レッツシング アソング』『金喰い虫のうた』『風に吹かれて』の楽譜も用意していたが、雨の中で楽譜もめくられなくて断念。最後に、楽譜不要で歌える『メッセージ』と『原子力発電 NO!』を歌って今夜の行動を終えた。

「5・15 沖縄平和行進のマーチ」も歌った。他にも『レッツシング アソング』『金喰い虫のうた』『風に吹かれて』の楽譜も用意していたが、雨の中で楽譜もめくられなくて断念。最後に、楽譜不要で歌える『メッセージ』と『原子力発電 NO!』を歌って今夜の行動を終えた。

▼今年の9月1日は関東大震災からちょうど100年ということで、当時の悲惨な状況をマスメディアは大きく取り上げた。そんな中、松野官房長官が大震災の直後に起きた朝鮮人虐殺について「政府として調査した限り、政府内において事実関係を把握することのできる記録が見当たらない」と発言した。内閣府が事務局を務める中央防災会議に設置された「災害教訓の継承に関する専門調査会」が、2009年に取りまとめた「関東大震災に関する報告書」の中に、朝鮮人虐殺に関する記載がされているにもかかわらず、その場で虐殺を目撃した人がいたとしても「記憶違いではないか」とそれとは違う証言が他にある」とでもいうつもりなのだろうか。こんな発言を許していたら南京大虐殺も従軍慰安婦も同じようにうやむやにされてしまう▼ところで、大震災の2日目、「朝鮮人が井戸に毒を入れた」と「朝鮮人を出せ」という自警団の脅迫があった際、神奈川県鶴見警察署長は「毒を入れたという井戸水を持ってこい。私が飲む。異常があれば朝鮮人を渡す。異常がないなら彼らを私に任せろ」と一喝した。すると自警団はすぐ退却したという。狂気が渦巻く中で勇気ある人がいたと思うと救われる。

歌の力が物語るもの 122

荻原坂つた行動 9/22 (487回) 報告 Rico

【参加者】鈴木さん、守屋さん、イサさん、周平さん、達哉、森 計6名

9月20日、笠木さんの計報がはいった。私たちが必ず歌う『原子力発電 NO!』の元うた『トマホーク NO!』や、『私たちは許さない』を創った人。荻原坂の行動を応援してくれていて、『反原発』のたいのテーマまで創ってくださった。上京の際、荻原坂に来て一緒に歌ったこともあった。今夜は笠木さんの歌をたくさん歌おう、と楽譜や歌詞カードを準備していった。あいにくの雨。それでも昼

間よりは弱まっている。鈴木さんが久しぶりに荻原坂に登場。膝が痛いのに、雨の中ありがとう。守屋さんとイサさんは15時ぐらいから複数の行動に参加されていたそうで、合羽の中まで濡れている様子。楽譜を渡すが、持つ手もおすことになって、濡れるに任せて歌う。私は久しぶりにアコの上からポンチョを被って伴奏を入れた。

『トマホーク NO!』は『オスブレイン NO!』になり、『原子力発電 NO!』に変わった。時勢に応じた書き換えを快く許してくださった。敬意をこめて、原曲『トマホーク』と『原子力発電』を続けて歌った。そして歌い替えと言えば『私たちは許さない』だ。原発バージョンと辺野古バージョンを続けて歌った。私たちの金曜行動のための曲『反原発うたいたいのテーマ』は『漕げマイケル』の替え歌なので、初めてでも歌いやすい。鈴木さんが歌詞をリードしてくれて歌った。雨が降ってもハレルヤ。きつと変わるよハレルヤ。笠木さんの応援に涙が出る。

鈴木さんが『オンザロード』をリクエスト。辛い時に、元気になる歌なのと薦めてくれた。雨の中、街灯の灯り頼みだが、楽譜に目を凝らしながらみんなで歌った。周平さんは片手に楽譜を持ってトランペットを吹き鳴らす。サビのメロディが空へと高く響く。

く。気持ちに沁みて、再度歌った。鈴木さんは守屋さんと周平さんの声の響きに感動していた。

『Do! 廃炉』を歌う。「北海道支部の演奏の時、ギターが何台も並んで弾き鳴らすのが、馬を駆るようで格好良かったんだよ」と話した。真ん中が笠木さんだった。遊び心で怒りもかみ砕いて表現する北海道支部はすごい。今夜の私たちは、原発名連呼に目が追いつかなくて笑ってしまっ